



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月14日

上場取引所 東

上場会社名 ラサ工業株式会社
 コード番号 4022 URL <http://www.rasa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 庄司 宇秀
 (氏名) 永戸 正規

TEL 03-3278-3892

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	4,909	5.0	126	△21.8	79	81.8	75	107.1
25年3月期第1四半期	4,673	△11.4	161	△63.7	43	△88.9	36	△88.6

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 96百万円 (30.6%) 25年3月期第1四半期 73百万円 (△76.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	
26年3月期第1四半期	0.95	—	
25年3月期第1四半期	0.46	—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%		円 銭	
26年3月期第1四半期	32,991		7,681		23.0		95.72	
25年3月期	30,403		7,585		24.7		94.54	

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 7,590百万円 25年3月期 7,497百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭		円 銭		円 銭
25年3月期	—	—	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,300	6.7	350	1.3	150	26.0	100	△2.7	1.26
通期	21,500	10.9	1,050	41.5	600	53.5	500	18.3	6.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	79,442,038 株	25年3月期	79,442,038 株
26年3月期1Q	142,576 株	25年3月期	142,226 株
26年3月期1Q	79,299,649 株	25年3月期1Q	79,301,469 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国経済が回復基調に入ったことに加え、円高の是正により輸出業界を中心に景況感の改善が進みましたが、原材料の輸入価格の上昇に加え、電力などのエネルギーコストの上昇など、素材産業にとってはコスト増となった状況が続いております。

このような環境のなかで、当社グループといたしましては、中期経営計画の2年目を迎え、引き続き「安定した収益力」と「財務健全化の達成」を基本方針として業績の向上に努めて参りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間は、売上高は49億9百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益1億26百万円（前年同期比21.8%減）、経常利益79百万円（前年同期比81.8%増）、四半期純利益は75百万円（前年同期比107.1%増）となりました。

当社グループのセグメント別の概況は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①化成品事業

磷酸などの燐系製品につきましては、一般品および二次塩類等の出荷量が緩やかながらも増加基調に転じてはおりますが、原材料コストの上昇と、関連業界の需要回復の足取りが重く、低迷した状況が続いております。然しながら、電子工業向高純度品については、半導体向けの回復により増収となりました。

水処理用などの凝集剤は、下水道向けの出荷数量が、前期比では低迷したものの、民間向けの数量の回復でこれを補い、ほぼ前年同期並みとなりました。コンデンサー向け原料は、在庫調整の影響から大幅な減収となりましたが、消臭剤は、用途拡大が進み増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、33億22百万円（前年同期比4.4%増）、セグメント利益（営業利益）は、1億31百万円（前年同期比3.4%減）となりました。

②機械事業

破砕関連機械につきましては、復興需要による部品販売が堅調となり、またプラント工事も廃材向けなどで増加はいたしました。単体機械の販売が震災関連需要の一巡により大幅に減少し、若干の減収となりました。鋳鋼品は、減収となりました。

下水道関連の掘進機は、販売時期の遅延により減収となりましたが、レンタル物件の増収により、ほぼ前年並みとなりました。

また、組織の変更により、当期から当セグメントとなった精密機械加工は、液晶製造装置向けの部品の低迷が続き減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、8億15百万円（前年同期比1.2%減）、セグメント利益（営業利益）は、23百万円（前年同期比43.7%増）となりました。

③電子材料事業

化合物半導体向け高純度無機素材につきましては、価格面では市況軟化の影響が続いておりますが、移動体通信関連業界が好調裡に推移したことや、拡販により、ガリウムの出荷量が大幅に増加し増収となりました。また、赤燐は出荷量を大きく伸ばし、インジウムは、低調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は、4億57百万円（前年同期比30.9%増）となり、セグメント利益（営業利益）は、51百万円（前年同期比15.5%減）となりました。

④その他

石油精製用触媒の再生事業は、引き続き堅調な稼働となりました。不動産の賃貸も、ほぼ横ばいで推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は、3億14百万円（前年同期比0.4%減）、セグメント利益（営業利益）は、1億86百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産につきましては、流動資産が前連結会計年度末に比べて26億22百万円増加し、167億69百万円となりました。この主な増減理由としては、現金及び預金の増加25億83百万円、及びたな卸資産の増加1億28百万円などによるものであります。固定資産は前連結会計年度末に比べて33百万円減少したことにより、162億21百万円となりました。この主な増減理由としては、有形固定資産の減少46百万円等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債につきましては、主として長期借入金の増加20億16百万円、及びその他流動負債（前受金）の増加3億49百万円などによって、前連結会計年度末に比べて24億92百万円増加し253億10百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産につきましては、四半期純利益75百万円の計上、及び為替換算調整勘定の増加27百万円などによって、前連結会計年度末に比べて96百万円増加し76億81百万円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における資産合計は329億91百万円となり、自己資本比率は23.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月15日公表の予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度の適用)

当第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,018	6,601
受取手形及び売掛金	6,383	6,352
商品及び製品	1,478	1,517
仕掛品	930	1,014
原材料及び貯蔵品	810	815
その他	543	483
貸倒引当金	△16	△16
流動資産合計	14,147	16,769
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,515	5,466
機械装置及び運搬具(純額)	1,846	1,744
工具、器具及び備品(純額)	283	283
土地	5,155	5,155
リース資産(純額)	42	39
建設仮勘定	414	521
有形固定資産合計	13,258	13,211
無形固定資産		
借地権	919	919
その他	35	34
無形固定資産合計	954	954
投資その他の資産		
投資有価証券	1,307	1,309
その他	791	803
貸倒引当金	△56	△56
投資その他の資産合計	2,042	2,056
固定資産合計	16,255	16,221
資産合計	30,403	32,991

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,098	3,153
短期借入金	11,258	11,201
未払法人税等	74	27
賞与引当金	137	206
その他	1,263	1,703
流動負債合計	15,832	16,291
固定負債		
長期借入金	4,529	6,545
退職給付引当金	1,744	1,789
その他	711	683
固定負債合計	6,985	9,018
負債合計	22,817	25,310
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,443	8,443
利益剰余金	△827	△752
自己株式	△34	△34
株主資本合計	7,580	7,656
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△23	△36
繰延ヘッジ損益	4	6
為替換算調整勘定	△64	△36
その他の包括利益累計額合計	△83	△66
少数株主持分	87	91
純資産合計	7,585	7,681
負債純資産合計	30,403	32,991

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	4,673	4,909
売上原価	3,536	3,781
売上総利益	1,136	1,128
販売費及び一般管理費	975	1,002
営業利益	161	126
営業外収益		
受取配当金	6	6
受取地代家賃	11	10
為替差益	—	45
デリバティブ評価益	21	—
その他	24	43
営業外収益合計	63	104
営業外費用		
支払利息	87	80
休止鉱山鉱害対策費用	19	20
為替差損	53	—
その他	20	49
営業外費用合計	180	150
経常利益	43	79
特別損失		
減損損失	3	—
特別損失合計	3	—
税金等調整前四半期純利益	40	79
法人税、住民税及び事業税	25	22
法人税等調整額	△16	△15
法人税等合計	8	7
少数株主損益調整前四半期純利益	31	72
少数株主損失(△)	△5	△3
四半期純利益	36	75

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	31	72
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△117	△12
繰延ヘッジ損益	—	2
為替換算調整勘定	159	34
その他の包括利益合計	42	24
四半期包括利益	73	96
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	47	92
少数株主に係る四半期包括利益	26	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化成品 事業	機械 事業	電子材料 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,182	825	349	4,358	315	4,673	—	4,673
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3	—	—	3	6	9	△9	—
計	3,186	825	349	4,361	321	4,683	△9	4,673
セグメント利益	136	16	61	213	179	392	△231	161

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油精製用触媒再生及び不動産の賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△231百万円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用△234百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化成品 事業	機械 事業	電子材料 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,322	815	457	4,595	314	4,909	—	4,909
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3	—	9	13	6	19	△19	—
計	3,325	815	467	4,608	320	4,929	△19	4,909
セグメント利益	131	23	51	206	186	393	△266	126

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油精製用触媒再生及び不動産の賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△266百万円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用△265百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「その他」に含めておりました精密機械加工の事業を、会社組織の変更に伴い、「機械事業」に報告セグメントを変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。